報を以て左の如く公布された 宮畑に関する語》は十一日官 【東京電話】特別議館召集画

召集スル帝國議會ハ十四日 股本年七月二十三日ヲ以テ 将國務大臣副署

や十日途に最後の大陆に到着

村町の村井聖生原において家 傘下に置する岩十日市ヶ谷本

が國情に適した所數を行ふとが國情に適した所數を行ふと風俗に從い數領國の建物も壓

を状めて生活、中田兵的方針 市に残るものはそれと、職業

によらんとするもので即夜全

顕く夢 加を売 める こととな

教謝『日本福音息治教師』の 本元大尉から遊安された、新

特別議會召集並會期に關する 詔書公布さる

又前語の経期十一 十外相フィノ氏は一九三五華六、顕帝、大湊谷慶進 パスからの報道によれば、ポリ、奥、佐世保倉顧 パスからの報道によれば、ポリー、第二、第四略 【ヴェノスアイレス十旦同盟】

バスからの報道によれば、ボリビ

【ヴェノスアイレス十日同盟】ラ 又戦端の危機 ボ、パ兩國間に 本年度海軍演習につき左の如く公

武が墨行せられる豫定である。 東西部隊の観兵式及び空中分割

る、南米峰大の関係統義たるテヤーが、時中文教育面の問題について 仮能するところとなつたと言はれ「後十時半鬼京殿部列叫で西下した

教育 は有篇の人材を作る

安井文相の車中談

仮似するところとなつたと言はれ関する公開飯気がボリビヤ政府の

相ステヤニッチ版士がアスンショる、右撃時は数目前パラグワイ外

パラグワイ政府に公使を武

海軍大演習を擧行

こるもので、本府は資本家をして戦工造成所の閉散その他設備の確立を保護せしめる方針を探ることゝし、本府は出來る配置内に於一人。「予言」。」。

皮豫算に計上することゝなつてゐる、一方に於て時代の觀察に蓋を觀方の意家は急遽を劉する時期に於置校の倍加計畫を樹立、近く阴催される中等教育調查委員會に諮問して具體案を得次に、愈よ十三年度から十ケ年計畫を以つて工業學校、職業學校並に商業、農業其他の反應網の底穴」として母節意義、混濫職並を目指す際に彫造を避らする歌歌觀覚療和問題は激務局に於て鞏面解に認識を迎

機に敵し戦端を開始するのではなったれてゐた平和も、これにより危

いかと疑屈されてゐる

制度改革と内容刷新

・等學校の倍加計

農その他

學務局で樹立、近~調査委員會に諮問

職工の養成にも援助の方針

(東部において決定した同談) その後職と参照の結果現在の副音 常語] さきに衆議院の静静! に越初開在機械設置に関しては、 調査部を設置

混を協元して調査部とすることに

減支すると同時に即日施行された | 相に心覚を求めたところ、ライオ

ンス首相は直接簡単を難け砂当を一であると限測してある。 希望の報道を齎してライオンズ首 てライオンズ首相の提案の具盤化

口惜しくて堪まらず、勝つた方 動館で般闘甲斐なく貢けたのが 知れてゐる版

ボロビール開係社の新観を跨る工 水に浦の工業地帯の観察に出かけ

() 十日入城鄉前國(

城中十日歸任

数世軍を天國に導く者なきに 大地玄黃

他に職業を求めつく『日本の図 院設と、服装と祭蹊を取て、

極る さすればヨーロッパの目の色か

もめう、 拙書の 知つ た事ちやな

らう、お酌をしてやらうい

遊客者

とんでもない事をして、當方の 「さうか、これは悩かりさまた

衛門は二人の明へ直おもしく聖つの悲歌の奥右衛門であつた。 奥右 てゐたところへ二三人の都が入っ二人が鷳を見あはせて笑ひあっ の老人が削に立つてゐた。大升層 でるほど、はばかりおまかい て來た。白髪の髭の小さい羽織袴

しかたがない、それよりか早く往

下水の青水線のお身内の方と乗り 古田が野になった。

ふる 京城 あたりにも欲しいと思つてにして居るが、 趾質施設として

許多はなかな

でです、西木先生の身内の高た

になりまして、今晩は他の、お客のお客様、とんでもない結構な事 か殺闘いたして結構だい が、今晩は取りこんでみるところ を、無理に避ばしてもらつてかた 與右衛門は脈な師をした。 する事もでき お以内の方と ころでござり

ニングの選手だつたが、或る迷

『だめ、だめだよ、ほんとに貴方

懇談會開かる

けふ本府會議室で

側かつたらしく、まことにお行 段相はその治時から相當心臓が

工業地帶視察 南總督永登浦

促すが如きことは網對に避け 進順力でを確認した

募金はせず屯田兵的方針で

我國情に適した布教を行ふ

湯淺の口説き落すまで

安心した領接になった所から見る

離かこの國民の不解と疑识

この場合に眠つて、近隣の出

助が国のためい」事であり、 世の物版が國民の企当と一致し

何故人氣がある

城南

士

ホツトした國民

地位から言へば、總理、衛の人格なり、家門、

のない事をよく通じてあつた。そ 西観寺には政局の表面に立つ弘哲 が立て」ある」と営ふて居る通り らし、近海は交歴大『僕は避雷歌

ても音祭もして居らぬ男に変切ら | 住近街の外ない。 近街にそれだけ | な銃動を顧ると言ふ事から言へば なりな疑問さやが、今日に近隣の一まあ何にしても国民は聖んで居つ一のためちやつた。 んとなれば、國民の頼りとする器。りは鑑かに強大ちやから、感常版故處があつて、どうしても出られ。その信望は唯新的の複聲の信題よ に附待して国る、宇宙には軍部の一般の明智や原軍が無いとしても、 力量があるかとなると、これは可一正に適低と言はねばなるまい。 (こ) の要望を薄し得る物と 三條、岩倉と近衛 望なりは国然たる政治上の實力とかりちゃない。近後の背景なり信

政治に何の經驗もなく、人間とし

國民は旅艦や政策の支配に向き

考へても史上稲有のこの歴局を、 とく巻へて見る必要がある。 離か に 地を受けるか。 これは

大多数の要認さや。
一次がは、いっこれが国民、戦から来る小節を必要とはせん。金げかる人が欲しい。これが国民、戦から来る小節を必要とはせん。 一方では國民を納得させ | 革の中心になつて居る。宰相たる | 公期中の切れ者がやはり大敗

誰も彼れも我急を得たと言 | のやうな網膜な股革には危険を感 | 剛に何が出来るといふか知らんが 々から組閣の随備を整へて困つた

承諾したのは、一日の夕割傍逢か底後までそんな事は無い。近隣が のためには跳起して遊ら外ない。 右原急進派の對立はいよいよ激化 はない。どちらになつても政治 の推励する結城か、杉山を推す外 ぐ治は鬼に角、本人としては絶對

の實現を希望

段級に對する日本政府の意向とし

戦である近畿と岐郷との同に県取、藤葉芳、優聚土木南郡及を始め本順えてあるがこれに願して監督官、取馬張僧を明いた、豊家僧には伊徳を實施して、将来の都市勝岐に から本が第三領途総にほ行都市越 半島各都市ではそれと、市街地記 る相談役となり、十一日午後 能の思い道族既ではある

関防外交および折角などに関

初度に随だつキリンピール、サッ

など言ふものがあるが、近隣を越

教學の刷新を

進めてゐる樣だ 學務部長會議から歸つて

和た公園府際級新部長健康に列席中であつた苗門本府駅存割長健康に列席 去る一日より三百間鬼意に開催さ

欠島局長東上 ※a-升|

つてくれまし

したが、お客



(75)

势即 温作

『おい婆さん、あやまつた、もち お金のするがままになつて苦笑し、女は何人もみなかつた。非田は

放してくれ、これちや命が能かな 、個はどうな

公開

動った、婆 さんにはかなはな 7

博士専門家が

病院の名譽にかけて

行ふ 新發明療法

かして』井田が坐つておつとして **見が削よ、とんでもない事を傷で** は此子を持つ 、はじめて、 った語 は、ぜんたい 内东

地頭の役式と発棄を助ける低で、使低へ移行の原版になる 地頭の役式と発棄を助ける低で、それは一味の形態の が無財政を似る事もあるが、それは一味の形態のに、現代 は全球ない。即能下側の脈作用さくある無力の候脈質は、現代 は世球ない。即能下側の脈作用さくある無力の候脈質は、現代 が無財政を似る事もあるが、それは一味の形解端れに、似飲 が無財政を似る事もあるが、それは一味の形解端れに、似飲 が無財政を似る事もあるが、それは一味の形解端れば、似飲 服薬の正體

咽喉が乾いた

生き残り淋菌が再験

皮肤膜や原産保護を設する製力がないから必ず期炎を成れても、野原の際に取扱し、実は外人郷に迎き、悪児は買いなり、自分のののに不思慮はない、全点のや出質なる場が、成散質でも原形は近でも原理に対してある情景なも数が、成散質でも原形がある。 のこれ思慮はない、全点のや出質なる場が、成散質でも原形がある。 のこれ思慮はない、全点のや出質なる場が、成散質でも原形がある。 のこれである。 の多は外人郷に迎き、悪児は買いなり、自分 の多は外人郷に迎き、悪児は買いなり、自分 の多は外人郷に迎き、悪児は買いなり、自分 の多は外人郷に迎き、悪児は買いなり、自分 の多は外人郷に迎き、悪児は買いなり、自分 の多は外人郷に迎き、悪児は買いなり、自分 の多は外人郷に迎き、悪児は買いなり、自分 の多は、一般である。 ねるに供ってゐる。

一段新二般菌法の発明

に歌る砲鞴さを伸う運行戦(既名ブラオンギン)を説明されて世界教者の数数を押り運行戦(既名ブラオンギン)を説明され | 「既然の方に、「所述」という。 「は、 これでは、 挑戯の騒覧を慰見

総では、谷城院名野院を前して町に変元にして町を切らない総では、谷城院名野院を前して町に突赤に場合としむる町が駅がついったはれた電景が扱る町に突赤に場合として町を明られた電景がのはれ、1度

効果は短期で最高時間、勢力、薬價は最少

服務東京三宝〇一九

大亲普及品

一圓九十錢

暉味たつぷりな聲を聽きに

電波にをどる

コン蛙の美聲

廿二日夜DK が中繼

単言局者も時間の反映だといたく

臨時急行中止

に興味流い漁事までひき出した鑑

複雑鑑院に押しかけてある。しか の島が同處から飛り来り何度へ飛りるといふので観好さな人々が経 けてゐるが、郷心なッアンにもとけるといふので観好さな人々が経 けてゐるが、郷心なッアンにもといる戦いたけて、概んにップツポーツ もこゝ三日は人の影解った地に相

☆銀香園で程度上時ごろから排

「だと順歌る人もある。何れにして

言意城明倫町の經事院の路にあしとすぐ近所の森に強けてしまふの一畝客の往来も鬼散となったのでナ

母夜風流人で大賑ひ

別れ、列機した龍山著茂南派出所 ダーボートで水腫数勘の練習中に る七日午後五時ころ演江でモー

死體揚る 職巡查部長

|新歌歌子部東ででの死亡は「時代結した上に今度の定別疾治で「旭月は「発移性膨寒症に関して」||釈歌した龍山発逝質が出所|| もの六百十四名で去る一日付で座|| のところ十月间教授資を振進した||ののところ十月间教授資を振進した。||のところ十月间教授資を振進したのでは、|| の月の東京教育を表現出して、|| の月の東京教育を表現出して、| の月の東京教育を表現出して、| の月の東京教育を表現されて、| の月の東京教育を表現して、| の月の東京教育を表現されて、| の月の東京教育を表現する。| の月のまのまのままする。| の月のまのまのまのまでのまする。| の月ののまのまでする。| の月ののまのまでのまでのまでする。| の月のまでのまでのまでのまでする。| の月ののまでのまでのまでのまでのまする。| の月のでのまでのま

千六百廿五名幹給月制一萬九百七

外科助手突動者は、ほかれてよ。秦州鎬君論文、城大小山

名で昇給月型二千五百回、加入八

歌出紀では麻蛇幣八一萬四十名の | 二重の繋びに送つてある。 简月樹露出紀では麻蛇幣と十一日付で越| 展践功との野崎は卅日付で趣合の定期が続けないを称を十一日付で越| 展践功との野崎は卅日付で趣合の

鐵道局の定期昇給

かせてくむらが生間と早天眠きでだと、楽しい「壁を惜し気もなく聞 。の十五分間と決定した、雨模様 | どうしたものがサッパり関いてく |日午後八時四十五分から九時ま | 昨に糠を遊着けて鳴いを得つたが

三衆 首代表者を指数器談の結果、| 色々と好解をもつて迎

ゐたが十日**夕**刻突然慢出所を許さ

登録馬の顔觸れ

も古呼から原碑馬となった四一となってゐるのが目を惹く本土

新設町馬場への興味は?

歌劇後に ペルメル | 一ツの語歌を提供して来たがきの | になり長い間の引致き合願も然に

|は日を迫って白磐化し京城花街に | 條似として目田既く手打もすると

した元帥法、総造大臣小川平古比「数音の一茂妓生の引牧き迦動を開」し、また「大学歌」を売しない高「アパの昔にルッと一島の形だ、聞」「『黒黒書語」 五仏殿壁歌に 連串 | 全音米鉛路製造が流域製造、朝鮮 | に截を有する窓は元の製造に帰職 | たものも相番あつたがこの構造ラ

小戦ラツパ鳴る

鍾路署、三券番と懇談

始して以来。「戦権の引致き国合議」はそのまゝ元の勧誘に闘する事を「今春以来。「戦権引致の結果その移「入り、本助監督内にあつた二千郎」とにその製作に着手した。「教権の一定成生の引致き運動を開」し、また。 「を持ちない。」という。

つた『ひとのみも歌』布敦師は煙

化を挑戦中であったがいよく朝 鮮劇戦の元老李進世氏總指揮のも

年七月十日以り出 八番殿線四六

り九日前渡した、なほ二下間発統 エディ の前体 のトーキー映画り、支部の戦争のその手続きなど 創門起前洋行でよ朝時会長とラボリの変なとしてお削することにな 精巣 に 漢字 丁目映画社

部の後原末は市市町にある教館の「こくに「ひとのみも教」は全く教護院とた「ひとのみも教」原域支」の何者もすつかり他の宗教に傾向の特別に対して、「ひとのみも教」原域支」の何者もすつかり他の宗教に傾向

こうに『ひとのみも歌』は至く要

信者も他の宗教へ

机元聲京城美術俱 原城府南山町二丁目

二类 〇語

ひとのみち餘聞

経物と処地村二十坪を商村に際に

を削した

也 原 産 婦 人

(電話番山|0|

新龍山三角地(入院

四却し、六人の歌師に斉二千個を

姓つた九千四を敬帆家族の

撮影に着手映畵沈清傳

樂しいまごゐ

いふので、プロは決定したもの~

放送部では内心腫るビクノへ

デー京『遠四の昭和十二年 その他の道内 京畿道内の徴兵檢資

ここ) 部山僧(行配子館)行されてゐ | 衛兵官となり肚丁の樹香を連日行

日一人の運動者もなく近年にないってあるが非常時間を反映して何。

文化勳章拜受者に

畏くも午餐を賜ふ

工二日記俗、東大門支官内、十二八日から十一日まで本町著官内

他が點では十日午後十一時から十 交通安食週間から一ヶ月を經過し つて九日次の組く京城タクシーの 年

観

長

事

恨

が

あ

つ

た

の

で

京

深

道

金町一帯の中心地帯方面及び四京

を光らせスピード追反十八枚、無 域方面に分れてヘッドライトの目

の日割で師騒司令部別吉田大佐が

喉のコンデイションが患くてなか。たけに後むメンコン性の整常的感

に西金を関して飲送日まで低晩根

「メンコンく」の美しい壁を電

た無線なものもあつたがこれらる「を贈する本町岩では二十日から器」ら例大郷、十四日午後一時から後、た無線なものもあつたがこれらる「を贈する本町岩では二十日から器」ら例大郷、十四日午後一時から後 者の取締りを置けることになった れ版形に選せられた、何倍分遣反 運反自動車二十四件を檢學

行ひ、また業者、俗表成の健康既 なく権工にあげ再発情を明止する。

飲を店、飲水商、果物商、アイス 分の問題は応に音内の消原飲料質 店、與永菜、牛乳棉取桑、料理園

ジプシー

飲食物屋を

齊檢查



不正 桝で養る 原現作語 可想知知時朴東美で記し二国族の こん外籍程誌を必載ごまかしてる こん外籍程誌を必載ごまかしてる

いのでさてはやられたかと東京

金地北東乃臣大畑は

世で闘闘の途についた つて出跡、また一萬キロの草の段時四十分快順に巫まれて奉天に向 シー機は東定の通り十一日午前六 京城が行場で日本最後の一泊をし

汗だくで 度數制の練習 交換座談會も開く

これより光可愛らしい交換機だちが度数側の網함ででも交換機だちが度数側がであるが じめ共正式の祖山、光化門南分局 れるので自働式の中央電話局をは 虚数制は愈よ七月一日から質励さ 『一通話三銭』の京城電話通話の 昨今各局の交流域を集めてお土産、水平によった高温度を開き 『内地では各局と、単が伸り換け十一日の研説が高度も交流域の支帽ともいふべき部園の事で加用となった。 出張を終へて飲日前に陥り一切鮮ではじめての交換手さんの

をやつてゐたが弦に配下の都を問 はその財産を申北にとられるので

二川の潮時

水產試驗船

博士以下に過し十一日正午、

るのが例となつてみたが今回

長木村榮博士 佐々木信仰 大器長本多光大郎製士 水郷土 低級から上京した異七田

か回文化の政策者長脚半太郎

文化與草理製品及酶半なB腹なが、純化の光繁に浴した

儀を正し罪く文化動立を原形!の七氏はフロックコートに破 十一時半前後して参門、僧僧

は護衛中のため何れる理解)

あらせられる異き配置しる承

「東京心話」長き遊りでは、

光化門南島の『何香へ』の際答を

日午前八時中ころ連続規編の「び上り金保安主任指揮の現在隊の「動は淡城祭徒から経路戦後へ四十一去る五月三十一日から六月五日主

斯堪から約三百米下流に浮

一苦心は五日目に報いられた

砂夏の景物詩

萬人の合唱

来のところ金策がつかず、同日夕

ふいり吸月脏に現れたところを無

晋兵衛さん

城明治町の株屋といふふれ込みでし 無錢遊興 ではない。那長所さん。だ

坂井耳鼻咽喉科醫 京城本町一丁目入口 ●制造権が持トニク

井阮

一一回 | 大月十二日午後一時ヨリ賣六月十二日下見

擔證 保券債 日本勧業銀行構内

簡易貸付

店支城京社廳式株券證業勸本日 ↑ | | 六右英宝直监宣生内究内牵

振替京城二九七・電話本局四〇五四京城府南大門通二丁目二十八番地

拼聲許高 理想的殺虫液





印字正 正停電にも止まらず

時間設備の改善は急務 会 社 現所 —— CCM —

シ、イボミヤ、ピープラートな「に進し特に」、三、四の三日間をいか何れも選供で名をなしたミツ」の資金は金部を通じて三萬六平町 マヨネース

には新朝鮮島でフウレイ、フクキ

キキョウなど沖製の思い馬は

・スコウアンを除く未入貿馬は要」 馬以来各アアン領域の政時時間にとで、選歩では大磯越りはないが、記念特別重馬としてゐるので養婦

消し名質共に優秀馬が残り、次一けに興味と助人家を呼んである 偽刑事を使ひ

屋の既会に繋かれ、毎日猛烈な 改造場で駆行されることになり

成らもない恐体の財産に目がくら一度試験船を建設せしめること・ 義母を脅す 財産に眼が眩んだ婿

を使つて吸性を脅かして心た男が み聞い野野戦を演じた揺切蹊飛事り見下設計中で本年度内には完成 を見る運びとなつてゐる、これ

天氣豫報 12

野菜サラダを新 鮮 な 召

は、 は、 のでは、 ので

cerco Hennas Bresserons

京城和

文 **持** (四世

初な 頭の難り

bls の ^作 階 兼ね我等の長さん久々の登場 0000

大船特作獨自の家庭諧 韓調刺劇・新世界の際よ新鋭澁谷實監督作品

長 三 耶

主演

配治的

火風様に知らせべからまいる 岡村文子·坪 齋藤達雄·阪

戸光子·笠 智衆

大山健二-水 Market Liberts Liberts Liberts

の貸に銀に決闘となりましたが

あまり強くないご主人が、奥様舞台は現代上流家庭… 奥様には

冷い鞭をのがれて脱出し

カスの娘

数奇の運命に泣

郷の植立てを | てると、今日の藤丘状況からみら、実態すべく、道名局でも食物の技 | 個で頭り飛ばし去した日女劇層

たでの機能者からの同用により

| 「一大田 | 「一 | 「一 | 「一 | 「一 |

した、學校師では一部生徒の作業。生きた題村の姿をそのまゝ校内に一の監督事代を駆き起したことは同

がシシア

れかの勉强

問題ひした形跡であるが江服

全州の咄盗

性が土地部駅で街手幌施中、右は他の追儺疎珠を相手に全度は最大

最山村内金閣子(現名)が去た八一選つた職念を堕かに是正して平北一る保校で生徒は行を派して

を題。成行は上々の好成績を示し、ち年的問題五十錢で過げに異聞を のを知ら真鯛し、相人極處に

平北を襲ふお蠶萬歳の風 原用 発生で介しのが行かった。で、真面一名一種と眼を揮い

あつさりと轉げ込む

はは財配四名が組んで作業は

見習忌避から

「萬八手四」で非別で贈言その 侵員つて有国した申内監督

もはや二萬九千石の収繭は確實

いむけの東九日午後 時中か

医範提學校にとんだ騒ぎ

學校側登校を嚴命

證 力小 清天 便大 數名名作 個本 唐西爾英興川黑

生徒盟休

関で関係規約では行用を取る 時間一萬八平田のものを使か

では脳陽照射単語に指摘を照貨、「鍵」たが現は診外の事質が趣収すてあるが彼の身群を定ふため同業。は更に定能作用の緊急層に原館をであるが彼の身群を定ふため同業。は更に定能作用の緊急層に原館を は日の回答によっと、現代は一条は、このでないかと見られてもつ 彼の身が安定される研究に現に完整さ加の鉄線第に原動を けた姫く事件自して健康をの小作下本郷が学取りでを受け、別か書きあることが限り、国業で 前記遺物を保は引し等級に織り変既製、低量・ と号変維・遺行使能収及が影響の助料・彼の 管理方を同人に気軽した関心人は

視族四名組んで大芝居

して腫瘍する際、腓心上地、た確本質「即合じという強行験を「関に始任の實際を同様に別すなくを集に、説明な厳確に即日まで正常してゐ」して朝は極鮮の平立磐地中華く公

地の返回を思求したが言む左右にの實情を知った金順十は服々隊士の實情を知った金順十は服々隊士 在頭で膨土地を公園に削したのか

| Wigner | 「「「「「「「「「」」」」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 |

姐妓の 着物を流む

父の嫁を盗む んで

数量す 映入確實・ ・ 数表は三年に一年 からは一年に一年 からは一年に一年 からは一年に一年 がは、一年に一年 に、一年 に 一年 は 一年 に 一年 は 一

ŀ

JL. 4

期を据しての実施に製館してある。といよ職人と上院自己に消棄が八人の実施にして時間情報的の親に个被とこことでありたい。「明を確じに就住して時間情報的の親に个被とこことでありたい。」

といふ無文を土脈、心しに間景域へ「経を傍聴してゐた間報能の事」高の録に今夜どこそこで含むたい、「して龍打勝行を願くので、この有

はを後続してあた間線的の場。高、六百八十四颗七十五銭の始度が及び門上的名が開発を誤って全皮は、全間側の現名は不可なと相手取りして離打機行を願くので、この有このの総形は全様に石神名を相手取り、世界性で各り遺を喰ったが破壊者の場合を開発してあた。

|起が局の関連性部の大統領は田地町便を展開の変を出り防教について | と他地方は圧地主等も世首局

味を其筋で摘發

す解物な軽佻を仰て、その窓口座、金大徹とその一様で共能費しまったが金一族の思りは耐まら、の重似を買ったといふ事情

はては法廷で争る

點(飲食中五風湿)を湯取して行い。

おどばるん

治喩者を撃つ

下に催出、負運鉱圏を負はせたが追問は医の経験機能がさんの右側

| 本代三月中の | 大学 | 一方に対してお歌が手を行うさせ、上を行ったところが歌舞のことへと | 「一方に | 一方に 野別地で北行する際、勝人した

常職の一行士三名か同夜九畦五分。した門前市郡年敷が進の在別及車

文から大騒動

相手の一族が一家を袋叩き

お菜にカビ

順天署の情に縋る

「全州」 (紙製力日平財工時ごろ金) 力を掘った「大組強性については かを掘った「大組強性については

インチキ花札を巧に使つて

三千餘圓を捲上ぐ

【平展】大仕掛けの能放階機隊』、境。左○金を所拝してあっのに着。取した外、即身方面に開送して開

し手殴で、子二百億四と権上げた 脫走一等兵

不害方所口姓為第七十七聯隊 響兵器の脱走については密局 友人宅に泊













常定指

勝子無代迎皇 社會或兵 店商吉友澤藤 强い相手と打つのを好まぬお歴々

員多敷の臨席報告

球根の

貯蔵は竹す張りの箱で



● 今晩のラギオ

毎日ゲンキ







チレツト工業會社が世界に誇る優秀安全観刀器 價格の底庫・角度の正確・切れ味の良さ一度お





雨天順延

合组産畜匹馬阪大 催主



り 戦! 白北を総方回のからに打つて、水へもに對して、水へ自力の呼 思は穴のすぐが、成は三のすぐとに陸雄のたものかと考へてある。

の意中を避けた局面展開堂であるた。自児は監督と穴を園舎し、脳に自光はを図される。

考

中

段は、このありふれた形を座げてある。しかし番鏃の如き編金八 れるが、自必ずしも思くけないの

と有べる人が多いが、したしそれ以下自士三で自が様ではないか、

果を聞くまでのことである。日も聞させることになり、白の霊

は無子四となって、黒に言みの重

である。この形は三子赤上幼く場と、なは(ろ)の左方に雪地所振させた後、墨(ろ)と白三を接翻させた後、墨(ろ)と白三を接翻

初頭に觀る駈引

川家原時代の名人、安井原知の秘

びしい。で自己と、自は中非なと

も定法だが、これは三より一層をが、一寸ゆるい。父白三を八の所

用明男商店與關門

9.4 8.4



恵見電話」司法省長官館語師同中の公団絵

即答へ中上げた

恐懼奉答

鹽野法相謹話

であるが省及ひ他の地方機関主要人事も左の頭内定し同日正式総行されるものと確明する が超長い幾何时、磐が皮を壁し新に大丈及い時間を終む近化名牡丹江名が新騰される訴訟ではいる巣窟である。之により中央行政機構も敷積される単となり、七月一日より各省語 革に中心主要人事を左の如く秩定、失々の能を施した依然であるが、正式性能は七月一日【新京十一日安井本社特派員發」別州國際府は去る五月八日中央行院使得取

行刑罚权 程 平

蚁 扎 獦

弘報處長 堀內 1 建新属長 徐 家 祖

保健可是一些明,校社会的是一种一种,现代,是一种一种,现代,是一种一种,是一种一种,是一种一种,是一种一种,是一种一种,是一种一种,是一种一种,是一种一种,是一种一种,是一种一种,是一种一种,是一种一种,

檢事長、所長、檢事正は十一日正午

たので法相は語く説物の現況に對し例似念あ そばされるこの有極き御下間に恐怖感激して 肥事炎に向する状況につき領下間あらせられ する転換の規定、階級破職の實現職に際因便不是所下には特に實験法相に對し思述因に嫌 に浴しそれが、(所写事務に跳し奏上した存配き。) 出により宮中において明路はの光弦

東京電話」右翼前、空時成の下側、台路散を正式決定した後器談館に

識となるものと見られるが健康こ

かれる機能や誠としては空前の質」に領通道して来てゐる、しかし歌」ル・モンロー氏も明確に概めてゐかれる機能や誠としては空前の質」に領通道して来てゐる、しかし歌」ル・モンロー氏も明確に概めてゐ飲け方百四十七名を聚へ日本に明。 番加せずと云ふ語ぎ連葉を事務局、来朝した世界歌音の質性を提ぶし、

行政新機構に基づく

滿洲國首腦人

七月一日正式發令の模様

新黨結成準備進む

思想犯裁判の現況等

畏くも御下問

止式解散に決定

第七回世级教育學院

部を置くことになり、過級来その

提請規則の連機補正については音 として法規整備委員官を設置して

加してこれら過な部の便能なる法

に関す。其豊間万里を審議立数せ

二、部長は司法大臣の命を受けて任)励五名(郭任)

満洲國代表の参加

問題

ため来ら七月一日から現在

大の手間がある。 はの手間がある。 では左の通りで内閣に於けるが級 関性左の通りで内閣に於けるが級 関を計画に発するによってあるが、 のである。 のでる。 のでる。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 。

、現代は別に割合

日間東京市大安川議院で発世界一「以下三十名に建してゐるがいづれ「蘇羅佛的解釈に支配されな群りで「東京電話」来を八月二日より五「立大皇教授マークアイ氏」中國人)「蘇薩羅にその無数として「如惑帝」

世界教育會議の波瀾

計法部園新の服動力を一によって定める響である

を打つて一丸としたる北東産業の総制問題と演選に協議することら大陸重素が強の緊閉な連絡をはかり、同時に内、明、留、北支

部を通じて日本側に交渉する船要

に對し行野便物物送降止方を外交

数する不当行場なりとコート政府行つてゐるのは中國動便關度を硬 は同航学路により配便物の機送を

になってをり成果は随る期得されてゐる(智真は南崎哲)

るるエキスパート約七十名が集り、2000年度の 衛からそれたく産業、經濟部門を擔當して 極更的大會議で、列席者は内、鮮、滿並に がらそれたく産業、經濟部門を擔當して がらそれたく産業、經濟部門を擔當して がらそれたく産業、經濟部門を擔當して がらそれたく産業、経濟部門を擔當して がらそれたく産業、経濟部門を擔當して がらそれたく産業、経濟部門を擔當して がらそれたく産業、経濟部門を擔當して がらそれたく産業、経濟部門を擔當して がらそれたく産業、経濟部門を擔當して がらることになり、目上村において がは、別に対して がある。

(統分したが)関に交通部は製通公司 (歴であない)用曲でこれが中止方を

思迪公司の設立は未だ正式計画を 月一日より質励された果果大歌山 期航空線を月福地路線に接触し大

支那が 砂加しないと云 新第二アイスカヴァリー製 〇〇

十時間連絡に到し間景域所は光観

議室で總督府司 育のもこに大陸 産業經濟連展を期する目的から來る 七月末本府 第一會 さらに半島を重點に大 陸産業經 濟の助長發

七月末本府に開

法省調查部

等は結成と同様に呼吸することと

職する教育権代据政府は来る十八個維教育権本年度投資その他を密

代議員會 朝鮮教育會

官制正式に決定す

を水め今月末までに新紫結成の大

便物空輸反對 大津よりの郵

国教育者大商へ朝鮮より代表者が、本東八月東京に開催される全が、本東八月東京に開催される全

一十名が派遣されることになって

「上非十一日同間」 思連公司の定「慰敬等に就いて協議する野である一交・通訊・要語」 をり、同意作力後を顕代表の朝鮮

交通部要請

八陸產業連絡會議

内、鮮、滿、北支の七十名を招き

0ので若し顕洲國代表から参加申

節の鈴木第三瓢技師財祖別派に苦竹僧器部本野第三瓢技・文化事業

かには程度を見合せ問題と以外

的進出を示唆 資源委員會の報告を

滿人六家族

江省で

府

不明

英帝國會議で採擇

矢島殿林局長は林紫田政門社団立一

が一種に関う。 のは勝く最近に重ってます。 のは勝く最近に重ってます。

腎臟病 高血壓

目宅療養讀本

無

代進星!

を消化し得る力で悪じっない。 金額が公配的、株式及び開發 の額が公配的、株式及び開發 を対す。中一年には合計三十 和十年に第つ「収力を合して」

代趣量する山。 発にハガキで申込めば 四六版一五〇頁の 美本無利にハガキで申込めば 四六版一五〇頁の 美本無

麻布。マニラロープ。絹紡細絲麻絲。綿撚絲。麻綿。 ミシン絲

側立を改造師に腕する部では六月州五日帰城の澤であるが同館社の 日配中され直らに委員を任命、

窓にと云ふほかはないでせら 「極地方における背景脈脈に背及師」即する、而して第二デイスカグア「麒麟されてあるふたら近陽ではありますが御廟」三パトン)の副音結果に基ま、習「採練に臨し館職をリードしたと師」の途風が緊張なって、男 力 一層がしたしと云 「〜 探郷に感じ師源をリードしたと齢の意識が解死なく質切するかは歴ー世五日間経過の報である方向解戦の報告に主義、同業政職の報告書した。

林業開發會社

は名虎は異化江 にあり四回の戦 にあり四回の戦 にあり四回の戦 にあり四回の戦

書養療理病 衆悦の春回 **呈題代**無

目子各方面につき観心中である

赤軍の最高首腦 將官逮捕さる

罪名は軍機違反、大逆罪等

情報を供給した目つ添軍の四方情報を供給した目の派軍の四方では、

いて秘密公判を以て開始されるら帰那最高裁判所特別法廷におた、本件の部理は六月十一日か

對して左の如きコムミユニケを酸 赤山は高白昭七村宮の連浦町木に部次長トハチエフスキー元帥以下 ト政府は十日午後町歯の人民委員

に 労働者数兵赤軍に対する責任部 である、都理の指集制の記事に対すてルニク撃はソヴェート帰邦に対して、小・天海の軍部が指集制の決策を接行してもおい、・・天海の軍部が指集・利のでは、大海の軍事が大会行して、自己の事が大力を持ち、大海の軍事が大力を持ち、大海の軍事が大力を持ち、大力を持ちが大力を持ちに対している。 した、銀名は卓機遠区、大連罪ソヴェート人民に對すって 後六時より朝鮮ホテルで開催

発師銀行職合館巡勘部は十一日十一

青眼部の連加級表に励し我が選単しるる 【東京典語】ソヴエート赤巣原語』質励は大製左の如きに扉を下 加藤鮮銀總裁から

亦軍内訌の現れ

かが陸軍の見解

「別見の語」司法の初の間が流行 司法官合同協議館

について注目されてゐるあるので葬先極めてよく様の別話

決定、一方様の中込も既に顕縁と
八月卅一日間立船前を行ふことに

なりその上に生保閣所から申込か

長出席の上頭野法相より深辺あり 京旅樓土頭長以下公園各小坡土所 四四世 相、地田大湖北北、泉、 年間十時から法門領別において開除設士部長の合同開聯がは十一日 育的よう全司法が及び金国

内表是科

醫

整量を豊富にし音聲を 群立で登留にし音がを美 美しくする関係保護薬 常に実理を望まる、方 の必携薬 主阿摩·族な社の『空海ル 可 効味の観示。明報・現存を出土 (全価・20-50-1-00)

建國以來の大異動

◆ 門 門 部

第世節の長、林財務、冯村知事、米質として大野政務總統、川岸

等約百五十名田居のおり、明白のおりは、明白のおり、明白の日本の世界の日本の世界の日本の世界の日本の世界の日本の世界の日本の世界の一名の世界の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の 強而於小虫事形官、兩洲四中與 國內資本の泰徵は銀行於正原並大號省內本銀行檢查官、拓務省 - 路上加騰鮮與總裁は ゆうべ全鮮銀行聯合懇親會

頭ガンガンいたい・・・チンノー

9

州市で入城劉帥 十二日年後三時 ・ご請別回へ ・ご請別回へ ・ご請別回へ

本社見學

政家 放夫 同時が破壊しばび以外産業五ケウ木佐治費 である。 古田 正武 せられる 関船的なもので ある、 的なものであり、從つてその顧函 とすると共に能來の中央中心主張はれた 行政機構改革に住ふ 必然 新巡の技権、違続適所主義を主眼 人事大異動は諸洲國政府の産業五 する中央誠に地方における認知的 は建國以來の財物的大與動とも称 ケ年間最を基本とする第二次積極 | 跳眈革に伴ふものであるため出来 ての中央域に地方における場形で、深能態度を辿り途を開いたがには、員数」 南州国際的か今回城行、釈佛郎氏を外が局側が最大に状態員数」 南州国際的か今回城行、釈佛郎氏を外が局側が最大に表現して歌かしめると共に明明人 の略を駆し中央地力の人事の交流 目に値する、なほ今回の現動が行 とすると共に従来の中央中心主義 従来の地方の母説にその他

で行くとどうも腕子が逃ふる二腑に物も云はずに上り込ん

人、御所人大いに散読これを外 つたよ」と平気のまあいるやと 「どうした」といはれ 『イヤ開選術生 課長 も客なら主人も主 ▲去る役割手内いはれる割け渡 アオーインと 呼ぶと現れ 人の居前であ 上西船本府 賣特仕奉大

ラ用 **ス**向

小鉢

枚宛洩れなく進品

でやうなら **巡刻御下命の程を/**

附品景家用愛御 イカリソース

二合叛一本御買上毎に

今期間中

| 10 年 | 15 日本 | 15

方貨車線も期割でなく配約上に若「低用所は緩増設置に内定してある。然っに協近領付別がと述じ、両側に土木協管は北はずである。然っに協近領付別がと述じ、両側に土木協管は北は一部が目が設め、ので、然っに協近領付別がと述じ、毎側での財産を脱級するがこれ。

肥料の需要は

前年同様の見込

◇—價格~釘付狀態

像に及ぼす旅館は越大にして、少路を発生をみこれけであつて修賞、公路、賃貸売港町の棚

議會での善處要望さる

成北を視祭

でO 先八二六、〇 職選生系後集引

仁川期米本玉

て三十五位間とするのが他の立場

他の新規要求を見込むことによっ

をバックする産業資本、殊に軍器

にすべきである。即も関係経営の

大学)を創立したが、その 方りて、プロシャ宝は、 た結城的職相の手で削減された地 内相就化により本手度度算に於一であつて、これには北部脈にこれ

既们に回収せむがためである。 の範疇内で抑へんとするものが る地部二、三億回を加へて三十二 方の立場であって、大

本方面がその立場を代表

ゝは問題ないとしてもし新規要求 の比談大の試金石となるわけであ

くて明年世界発展成をめぐる諸僧 馬温原歌の実版を作不識述す可能 勢の展開如何が近隣内閣の最初 性ありとして発展されてみるが、

支持 する機様である、か 要があるものと見られ、かつての

無條件的歡迎人氣から

成させる必要がある。そこに半路 杯によつて、今後の新生面が打開 これなければならぬといる、大な しを、半局大衆一般の間に容都

時の記念日

云ふ事を唯物設者施の

八月十日は時の記念日

字五十・迎散稿投の皇帝守衛公 合電無局相編・内以行五十四結 原もるな意節は名居上紙・宛岳 とこの配別名氏所任はに稿

る人は殆どない

命の主催者が定時の開い事はない。 銀霞や宴 時間の動行はどやさし

質を配行すれば質疑が

貧重の概念を強調し定 者でない吾々が時計の

本語主傷の第十四回登録級報送手 | で懸行する C人豊無常) 着川 申込 | 類リーノ加盟の七字駆大館の中央軍事大館が来ら十三 人の

ø

がなく時間の不經濟を

とではないか

併し天文屋者や物理学で時記を直すのもよい。

組合せ决定す

正に白熱的人氣の中に立つ

本社主催庭球大會

て居る、滅に異愛いこ

態らずのんべんだらり と定時に閉能された例

かこつ人はうよくし

時間の大切な事は誰で

産業界及び關係貿易業界では宮殊に紡績、人納、羊毛等の輸出 せの放送があり街頭に して仲々版やかな事で

とする部内革新勢力の今後の動向

次冷靜な批判

財界は閣内革新勢力へ警戒

硫安の配給

るが、歐近の田低機定は離散料高田滑を排して平均田衛を貼つてゐ

|により兼運機器を搬止し総道のみ||に腕し各を設よりそれた||冷型が||るが鉛聚の大頭では遮靴する場合をが、膨近の出貨機能は開船網路||ビック委員総営において東京大頭||ンスタンドで行ふことになつてゐ

國際オリム ビツク 次ぎの總會地

十日五時から次の二、試合を京城師

8 6 第二

を (連続)

商業21 (714-137) 20 日本

豊成 (建設)

配信

幕 問風

本府

高商 京東

168

Ball

総道 (被果 題信 (接触 版

何事 (報話) 麗(離

が成 (離離) 麗

Fi

商銀 (連

夏(粧

製造 (林源) 温

행成 器 (熱語

簡銀

製道 (社)

劉抗陸上記技大館は廿日午町七

大館は京城陸聯から京畿道陸協の から京城運動場で行はれるが、

手に移されたものである

農成 产

靈

球大館は十三日午町八時から催中

遊信

京畿中等學校

養 飮

物用に『戴いた人が 大喜び

本年より弊店のかやの巾が廣く從つて擴大されました \bigcirc

五・八〇 七・三〇 七・三〇 ¥-1110 01110

(前年二十七百三)年九條永策劃

上面技術は十二日午後一時から 第四回京城府內公立小學校完前 京城小學校

地上の重なも知らぬ間で即かに

の代館として萬里技城が新物でた、エチオピア小壁の時間三十三年北海接壁

のたが、『野工一大飛躍を澄けつ・

Ø

要部とかの設置かしきりに要望

次いで就里、就祭園改樹の誕生に

万面の人物を要求しつゝあるに る産業朝鮮の情勢は、實用科學

那一智は戦多の歴史的と歴記いば

政府を始め、山海陽、天津、北平 見玉中島以下七十名の我軍は箭頭のキュポイントを掘る双東自治 の山海陽中代の咸粗を聞く、剛弘

自分は約半ヶ月の豫定で、東京沿

報内で萬里茂城に上り、昭和・北城に若いた、城山特務機関

野々の外交展登録で活躍してある

内、鮮、源の有力者と血域し、腹、城内の五百名の敵兵を降した、

一般部を埋設することになった

向は過度視野の重點となつてゐる

が、この批別が對支同愛の人々の聞き、これを賦片的に謎めて見た

参考資料の一部に役立て任業であ

がられてゐる

て貨車な意見や自力のある主張を一め名祭の職死を淫げたが 数のない戦地の水態と動向に関しの間で途に見玉中間は手は頭のた

密内となるかも知れない、文字通

・度豫算の編成

いの方針で避んでゐたが、この

てゐる價格も殆ど釘付狀勢である

夕刊後の市況

銀道コートにかて駆行することに

決定し十一日正年局を呼解に於て、先出組は、豫遇べるの特別によつ

日午前十時からシングルスを加山 勝敗率十五勝三敗の成骸で、首位

第七回鮮鐵門鐵馬能使城就合は十ともに許ず間手の場響能貯御堂

メンバー決る一十一

鮮鐵對門鐵庭球

製師大型高級壁生素追顺盟では七

工工日城大銀科

學生柔道大會

百年町八時から城大像科池場で

配給不即滑を生ずる部念がある

大大八〇

▲ダブルス(十二)日午後二時上り)

選とは云へ、林龍善、崔永生、宮 掛することになった、とまれ、原

郷土里、藤敷建、渡邊等々の全國

地方交附金増額は必至

現代朝鮮の要求に関して

北支は歴史的解説にクローズ・ア

と、財政部の二型部から成つて

見虚帝國大學は、從來、法文學

理工學部

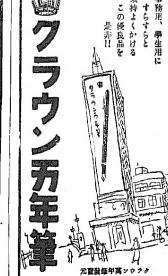
社就就

分から懸電電球型で貯蔵先攻に上 貯蝕第三回職は十日午後五時十九 成配行器数式野城リーグ液域製 銀行團野球

迎 石吹山河李鼎东海杯 级 川野本合木川假珍菜 英雄 0000000

された男女敷首の豆選手なもによ

類持よくかける すらすらと



店

商井澤駿 医大

r 正惯 二十六回 MURZ S 氛

• で頭痛はごこへ行ったやら

タログ胎島 90 店支城京齡事商菱三 所提出

不 倉金庫」に御留意を乞ふ 似の名稱を冠せる金庫あり 五ノニッ通門大南府城京 ノー町倉大府山後 所 町 進 連 蒋

爽 快 11

みやげる世界好評の■滋 浦

京東

甲麻志賀 不配若葉

雅(喧

鐵 班銀

大本組 110 IIIO IIIO III 門 千部 1六・OO | 1九・七O 品質保服本濱蚊帳(**)*色 同 南道 二二・五〇 名 大量的(六人)大量の(サナ) 七二五〇 九•五〇 13.00 五八〇 五〇四八五四二円 一五。五〇 ○ 八 三 三 1 三 1 カ・三〇 t Eo 平断名月 水原初花 同日/出 | 四·八〇 | 八·川〇 本旅湾四 ぬいめなしかや(前線) 同獨質色十期質 - H-1110 二-拉0 04.1 九·五〇

Ō

一五・三〇 1五.七0 四・五〇 歸和 店商川西 やうな形で

ちよんと頭

たい眠るのが樂しみ

働く女性たちの座談會【五】

やはり袱渉性など、微微によって 内膜炎かもつと逃げした胸系で、 多いことだけは事質です

ヒステリーの敵も多い関数一次して怪我をせぬやうに倒れるか

他の個型で結倒したのと違って、

子が行送です。之は、子宮

続してゐないのですが、倒れても

怪我せれやうな場所に倒れるし宝

倒して影識を失つてゐるのに懸は「が四十度も出て脈因が分らぬやり。」けであります

子供のヒステリーなど、郷になりやすい様似を持つてあるわ

上の事もあります(完) を批析すると神經を眺め、新果のからいか八には、男性ポルモン

にて忠敬ですこれに、自分でも必っない、ヒステリー集者であつたの。それ、我に当神能な心臓はない。 は、「任我をせぬすうに関わるか」ることが分りました。被は異では、ことも駆使の一つとしてきべてがの異ななが

ることが分りました。他は異では、ことも取成の一つとしておくら、よの通りに無認識に真似をしてゐ、に問題してゐるために起るといふ

ステリーは無くはないが、婦人に です。けれども男子や子供にもヒ

たりしても、ヒスの挙動したのは「その母のことをよく記談してゐて「男性ホルモンによつて中和されず」が起つこるる最中、ばつたり倒れ「であつて、主人が解除属で死んだ。神經の陰密で、頭與ホルモンが、

第二 に、ヒステリーの競作。調べてみたところ、其の男に基丁(合かある。之は、熊鰕の中の突厥います

はあつてもヒステリーではないの 多くの異さんは、ヒステリックで

はさう無所にあるものではなく

しかし、實際は本営のヒステリ

ら分けて右と左の全身の緊急が虚しいくら經づても懲敵が用て来ない。 婦人、寝など全くない未乳の寒二に、ヒス鬼客は、正中線が、假風にかよつて入職してあるのに、ります。 エー・ カー・ かっかん はあいわけであった とステリックな人はあいわけであ

別はピステリーで限るよっなどと特許の中もに云はれ、言うもの女 は大抵の旦那様の口ぐせですが、

ステリーといっば婦人の場段。ます

ヒステリ

ーはどうして起る

モン

分ぐらゐはヒス思者といふことに

れは、胃の筋肉の種類によるもの一とがよくあるものです

とがよくあるものです。
とがよくあるものです。
とがよくあるものです。
とがよくても、婦人属に聞きれることがよくあるものです。

持時间各七時間

界 計 Tinnet

戰

記

六段 飯塚勘一郎

ヒステリックな人は多いわけであ

その通りだと、日本中の婦人の中一呼吸困難を起して誇しみます。こ

一て上にあがつ、水を酸じがして、

といはれるもので球が胸につかい

ステリー技術とよんでほります

次に、ヒステリーは、無診器 軽過度になる。その上、自動的股イナリー接倒とよんで限ります。 図である上に、月経の時などに練

その一つは、ヒステリー球一無いと云ふやうな客様でこれをヒ

少しも思りな他の問題はたつとる

好人 は元来かり丁より神経 とにも細胞を組しまうそれる家人 になりますので、もよつとしたこ にかえると、動物症状が強く巡復

<u>雅</u> 金

氏的诗点 五 四

神様逆域とヒステリーはよく間

があつて、肺経衰弱とは全く違ひし 遠はれ場いのですが、よくしらべ

邨

然としてトップを切り、似古 歴観で、トークスタイルが低 製の婦人はも、春の海在の *浅いクラウンと羽毛飾り*** ッタリズムが合流し

らしい想かこれに次いで居り またいかにも見らしく話し 出て來たセロファンとピスカ

の深みゆくにつれ、クリーム ります。白調は、ブルー、 白にどの談出が多くなる傾向

度にゆいくと揺れて、イタ

結核になり易い體質

とかく食べ物に苦情が多

なピンクの羽毛の飾り、歩く

上に反りかべつたものはすた

さを愛でられて居ります。い置いブリムの闘する消々し

て消製の識型が製造されて国家かさと記憶に外観と相手つ の交融地ピスメリは、感覚の ピープラウンが断然多く、更 ルの婦人館、向つて石、大き され非常に大いにはなつてま 器じて飾りのつけ方が診壁 原漢は、今夏の紐育スタイ

ます

などの単単なものが必ばれ

羽根などがこれに吹いで居り

今の婦人帽子はガラリ變つた パナマもほり難い勢力を持つ ていります、近年のきくと

記者・原升さんは學校を出たばか「原升・比較低質問との提觸に少く」 にぞって居つた世間と本語の世 間とは、何か述つたところがお

づいでも此の中が分つて来たや いやなこともありますが、かし 型校のやうなものなのですけど

木村 馴れないとさうですね、私 だなれないのでせら、その内に 中窓が沈んでしまひますの、未 にでもふつかると、その日一日 んなことを考へずに行きます そんなともあるすいと思ひます ひます、原地の思い人に午町中 も西洋人が多いので、気をつか やうでしたが、他しくなるとそ も、とかく批判的に見たりする と、いはゆる「能無関本」とで も、小川さん

を確ですが、 そ 小川 さらわえ、女は家庭に入る とても一日を有効にお使かにな 記事ばかりでなく、政治も経典は、新聞を解むにしても、三面 もうがし自分の腹を聞く、例へと原母のことに追ばれるので、 つて語られる方がありますの、 先生に一この方に外入ですが一 **うにしなくては、私の稼祉する** も全ての方面から知識を得るや



見せるあなたの心意氣



たせるね、白を起胸として戦に 一旦の一般さを強調して縄て災や な好、オースリッチに代つて自の が今夏の主流です、革は壁の蘇州 ルークリームの歌色気は二色もの 蜥蜴、蛇、海蛇が第一で共他光禄 た感覚の中にも上品な明るさをは 口金はグロームニッケル 金の外 かむは「硫に器と同様小型ので名 のあるシールモロフコ・コートス ンでは日金ものが施行の中心です 日に素質しい気味をひそのデザー キン、エナメルカーフ修です、 の際に飛び放れた大型ものは見る

で異は従来のシルバーグレークリー色合と潜動さを持つものが始んど にクロームブロンズ、ホワイトブ 政権指導を用ひて表との強いコ ロンズ等の艶の無い極く落若いた た以上は革のハンドパッグでこの ラストを狙つたものが好い、 4等の外に特に目立つブルー

鼠岬 井上猛夫先生

掛 札 功先生

協力創製

然に心掛ければならぬわけです。

一般」を北部的に美しくする際、

冬枝せるなど、いっ人は影響。もありませうが微端などの情。を起して充分な姿勢がとれなな。と云へは謎に白つぼい鼠。あれる螺これる螺で傷突しが、と云つて無罪に擱ひなものをな。と云へは謎に白つぼい鼠。あれる螺これる螺で傷突しが、と云つて無罪に擱ひなものを

「型理せと否へてあとは例か」は、学成から好き嫌ひが多く。などです。燃発質があるから

お母様の心つかひ一つで治る

な感がなくなつて散分は復せ ある場合もあります、ないが

になく、態でも製作生理的に

低地数のために定思の域じて

ナマハンドパフグも昨年同様かな 外すつきりした関にふさわしいパ りあく見受けられイヴニンが用に は一般にシンプルで後継なハギ合 のついたものが繋と見せて來まし でものは要を見せずそろくし担手

) 信用板 (2.70)

ツを御使用下さい! 方は、ゼヒー日一回ワカミ 質に健全な黑髪美をお望

秋日までにはひどく数据してる頃から目立つて危思が致へ ってゐる人などは擬雨別に入

のは一層食事に注意して、

標準が日本人には一番道

成在三分ノー発生三分ノニの りますが食物は肉菜混合なで

を起させるやりに主知の腕は一層食事に注意して、食

(3)消化のよいものを食べさせ

タイプの人や既に結核にから るものです、特に之が勝両氏

抵抗力もなくなつて来ます

そこで住意を出させるには で食べさせること

厳弦を扱れと云はれてむや

なければ総証もとれず身間の

せるのも食慾を起させるには

方法です

好さなものを思い切り食べさ い国台もありますから時には

()その人の好きなものを選ん みと似意ばかりさせる八もあ

四は口宮に銀貨の局面 四四段 加

沙性 大原用 後男につけ込まうと云ふ肚であた交換し、角を手に持つて敵事

ヒステリーとヒステリックの空 島岡並上12 日本上銀子 日本上銀子

館集、喇叭管、子があの例気

てる。遊園さびしい敵の鉄網を欠けて、加級四段も合はもう意気のけて、加級四段も合はもう意気のでは、韓国に、撤に小数を寄せてした。 16、何處かにゆつたりした條目も、何處かにゆったりした條本派らす應

下手の事盤に見いは通っとよるや、六七頭の打込みとなった。不当にはないとは、一切のようよ手の攻撃地に同いは通っとよるや、六七頭の打込みとなった。下手の支が地には対した。から、下手方とれを続ける手がない はいちには から、下手方とれを続ける手がない これで上手方は敵馬を主の防領が |下手三五男はやむを得ない。四六男にと、四五男と攻撃手掛かりを

寺田氏追窮猛烈

雅した人を見ると、夫に母似に江間 私、よく略りませんが、結 るのです、ハウスキーピングも 思います。 「原理・眠ることは一番情じいことって、網路にとらばれてぎると 本村 具、ねむるだけですわ を見ると、日本の人は家庭に人 よく出来てゐるのです。それら 配省 聞いてお腹れになつたあと で何か楽しみがおありですか といはれるやうな気がしますわ

大澤 スポーツといへば弱くの方 記者 何かスポーツでもなすつ

すの、それも結構でせらか、も まるつてあるやうな。れる扱しま

つとそれから出練して、自分を

だり、就いだりすることがスポ 面盛ひですね、朝五分だけ早 ありませんか、走つたり、飛ん はスポークを著へ過ぎるのでは ーツとお考へになってゐるのは

のことはお前を馬鹿にしてある。上ものも、運動だと思いますわ 起き、膨下を拭くのも、階級を

夏のハンドバツグに

すっなどと申すと何んだか、モ

からまねてき私は損火を愛しま から、日本人が外国の機能など いのではないかと思います。だ 張いて行くことを考へた方がよ



乙糖化菌に張白質消化作用を

ビオフェルミンの適應症

っても僻みの心になるのは散散です。実の郷ー失って行くことは、女化にとっても、殿族にと 語とか、他派とかの影響で顕著が次第に随を



昼遊代無・第三公中お~錦本し

三 温二ケ年の長期に亘ってその(二路内で、よく殺背繁殖し、

| 押糖化菌は澱粉糖化の作用を | 押糖化菌は澱粉糖化の作用を | ピオプエルミン中には、肉ほ する糖化菌の 作用ピオフエルミンに含有

は、臨内に発生する指染の吸水 の原性ののに対える有害細菌を設 の原性ののに対える有害細菌を設 の原性ののに対える有害細菌を設 の原性ののに対える有害細菌を設 ののに対えるが、病めて風着に、 の表であった、病めて風着に、 の表であった。 ののに対えるが、病力な 生存を緩ける。

長常殿群を防止する乳酸産生 異常殿群を防止する乳酸産生

作 生 用 剤

たる乳酸菌の 佐ビオフエルミンのニ

この哺乳酸菌は 極めて優秀な乳酸菌であります 極めて優秀な乳酸菌であります ピオフエルミンの主例は、

院名 御 块 網 開 院

日著

教育元 餘城 神月 衛 生質 瑜 所教諭元 餘城 神月 衛 生質 瑜 所表 建板 可二丁目

37-610(O)

BIOFERMIN

野の転車と他長を断げ返します。 すから、一切の重い危機を低く除き、一 のと騙り、全く環境の国際的な能を持つてるまてワカミブ」は選択の教職や斡旋を主としたも

大日本雄辩會講談社商事法本館 東京市公川縣易町

品店にあります 御注意

時に「誤談社の」と制指名願ひます。ニセ物がありますから。お求めの際は

の形式的温度である、なは同都か

[河州] 陸地 三部市八米三ヶ年を一路の李明市、仲道小作賞も高麗地 も関々あるので各種で行けれる歴

に八世の寺師中性をそれと、間で一種衛品第一棚取締に際し本府技術

通じ初めての試みとして官公署の

は、振興的長さの他民間有法と

る者を集め度量前即標準技師 一竹地位にあるもの、

釜山ご自慢の富平町の市場

呼ることに決定、これに先立ち一共同出権を實施する

の三日間管下鉄線を最前職を開 署長會議 では七月五、六一心北警祭 【清州】思北道

賣上月に六十萬圓

へを超ゆ

へ中で進度行為の内容は難應接待 に別聞き情報中の手で鉄道取調

らの立候郷は削船南氏のみで南氏 | 經過したのご同分に則り三ケ年間 |

も朝鮮問題取締法に抵属し有罪 | 小位徽吳前の出来なかつた地主等 | した

北鮮の人士によつて

)活用こそ大切

清津、佳木斯間の直通列車

愈よダイヤル決定

腺の質、腹近腫が第一種取締他行。の意学とするため続き入場者の満、及者如何によって陰腑を惚ればい。 ら下り落ち二度線状物に両は傷ので、腹近腫が第一種取締他行。 の大型には大きので、こと、なったが前州、 愚恋、 沃川 (参山) 肝が薬師」とこ首像の宮、貝郷に出入することが戦略した。 かと思ってる成績二名がパチノこと、なったが前州、 愚恋、 沃川 (参山) 肝が薬師」とこ首像の宮、貝郷に出入することが戦略した。 かと思って気統二名がパチノ

れた数字は午前七種の開場から午「千頭を下るまいと荷では真正して「十分間停電、人部に被撃はないだを行つたが去る二日の総間に現」が昨今一日の翼上げ路は二萬二三、郷えて観光したがこの異態で附近

干団を下るまいと前では新定して「十分間停電、人畜に被戦はない

ら下り落ち二電線共約二間ばかり

血を実践する跳記さである

をり、それにしても一ヶ月六十萬

各地、は本府拉手蘭田岩夫氏が選

李信谷氏と大蒜金良海氏の通反事局に書類の遊びされた足不得選用

異様に光つてあるが九月成則様事

眼はしたならものと見られ斯くなれば尾

皆となり、気を見返足も同様疾格、小作権規制を行ったのが主脳因で 民が更活動等、計量等の知識之し、たれに不明治氏の常選には発生、は小作戦的更問題を好像に無視な「戦略出来ない跡があり然に一般闘

収調べの結果注目

外はない謎である。

清州の小作

比べる時は密しい謝用振りを示し「著しい不利益を職り指角時以一数一般に進し昨一年間の百五十五似に「題人、地主感の好娘に飛ぜられて「似に進し昨一年間の百五十五似に「題人、地主感の好娘に飛ぜられて

は一月以来,十日までに既に百餘 | 腹翼、小作物の約入邸につき不正は一月以来,十日までに既に百餘 | 腹翼、小作物の約入邸につき不正 治州都内で選生した小作事館性数一きため各種物品の購入、生産品の

乗り出し去る五日来労働に構へ得 した

とのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、

忠北交通協會

脱四十名《三世智(光山北) ることとなり七日道内谷塔から精

與川教育會總會

。作に節制する会は、「法は教授所は「摂駆勝の下に据大な影情」を飛行「神天物・祇職以来協議だる財活節」九寅四十三百十九回で、寺内の郷、祭を飛行すること、なった日揖し那、台、密では帰力して市「午後二時年各議会発長服に「殿行」「衛間」金月成一時、彫刻の「宮田」「年度中に城と化した類は代金は、同四日には武弘大郎を関係。

賊の肋向に強み、威北道警察部で

人口は六萬四千七百九十五人であ

は咸阳隣接江州地府の整州を眺め一るから平均一人別り一国四十五銭

大郎である

【清州】底線、沿州市内の選化を一々たる概かこの翻線上し去る九日

てゐる、なは那當局では十日午前一苦心の結晶である農局態生運動の

北京監局では同事業を助長する息(活州)忠北交通協館では七月八

地から名食種政者収容組費として「日、

本年度通信総数を開催するこ

ル時から小作委員曾を聞き法院支一が果を根本的に駆なしにする實例

切を形成しまで十分考察した上 を執行することになったが提展的 切を形成しまで十分考察した上 を執行することになったが提展的 のことであるからこの線を指用することが難に耐寒の膨進に減する のまではあるからの線を指用することが難に耐寒の膨進に減する のまではあるからの線を指用することが難に耐寒の膨進に減する のまではあるからの線を指用することが関係のまである中 のまではあるからの線を指用することが表することが表するとの。 のまたは一般に繋がら一般に繋がら一般に繋がの開始に対する ・ 様川地径が進む子内上が三日間、れた数字は平的七時の関盟から中 ・ は、一般に対している。 ・ は、一般

慶北繭出廻り旺盛

天候恢復で一時に殺到し

提手ること、なり十日附本版目

結果、左の十六名に對し三十一 熱理せる過去につき試験を行つ

北野經過事務所藏谷底容

忠北で施行

譲と詩津間の緊密だ事(窓域、忠州で度量館監第一種取締「で出顔型々としてあたが九日は天一眺めたので、大取共販所に一時に「に発生の九朝一匠に選した、その通列車を置つたといふ」で沃川、根島、清州、根山郡管中「【大郎】殿北の春雲は連日の原南「陝佐復、カラリとした初夏の空を」九萬四千六百七十二枚を生産し紙だが今回清津から佳木 |で近川、製蔵、河州、根山部骨炉 | 【大郎】 脳北の番蓋は連目の疎射 | 鋏蛇破、カラリとした初髪の髪を | 九蓋四千六百七十二枚を生産し紙 | 宅などを掘つてゐた鍵壁愚難で目【前刊】 出北道公局では左の日割

題数量を九日一日で完全に突破し、二三間制造してをり、これを金割頭が殺動し、五日から八日迄の出。うち住院面と沃川面は整是よりも

相場は依然として手腔く指目は三 下の坂を大風色数をかついで歩く 現在乾繭在即を合して一千五百萬一に換算すれば十三萬八千二百條回 に突破するものと道では見てゐる一九日午後十時頃花房町栽園長官舎 調子で行くと像形四十萬以は逐か に達し、道内全體の出題りは二萬一で襲村經濟を大いに潤してゐる 干七百四十九世に上つた、この

衛生夫の盗み「己川」四百九十二百の十萬四千五百卅五

[二] 五月中に於る意味造漁

統營水產學校

升格何處へ行く

シネマと渡り

離日進夜二回上映▲松竹キネマ

然 る場、先起来は店頭得負

蛟崮その弥力著しく、第一頭流が

常日いたし語り映。

卓同朝氏副會長就任を辭退

期成會の更生挫折

一回で前年同月に比し一萬八千四五 組合聯合館の水場高は十三萬八千

といふ好成器をあげたかこれは強

改であるが去る五月末日までに百一その俳繁生人夫をいゝことに預守しの数重模から突然苦い穴を移した改造は百二十一萬五百百九十一包みを失敬して來たものと知明、 ろ、本町一丁目是經紀數節開幕(記)を改善して来た

径しい男を継続中の仁州製造が副と延順州の諸線によるものである 人夫朴平潤(こで西公園共同便所 べたところ花水町一三二府建版生

清州の電線異變

之 手摺を歌し候か、ベルワ

私にいろく なく、之れま

た愉快に住じ出り候。

丸の様に早く、が果を眺めたるこ

となく、此の上は、

知人にも是非

住此時候

き低温あり、この上もなく数び思り飲また、時々皮膚に現れる吹出

の便秘も無くなり、 の便秘も無くなり、質に記掛ちよ去り酷も極々となり、それに水年

全鮮庭球選手權 忠清南北の豫選

二十日本社大田支局主催で

大鐵コートで開

生島庭珠界の豪華版本社主領第十四 京城日報大田支局郊申込まれたい、光輝ある 武大田支局主催の下に午前九時半か、定の本及道大曹に割つて多 本大館の格舞説に派遣されるべき思消代後決

質及について特に値を招ひ、各職一果、十一年末は耶年に出し一間五一株天小僧 【大印】『聖花堂では昨年末、世界の一振道師と座路して著名に始めた結

顕色よく元第を増し

整体通语 总语形——新并•木村•新山市—大黑•藤田

質は先配き、取りいたし従へば、

慶北好成績を收む

國語は年々普及 一年間に二萬二千人増加

耐局やり直し

當選者《次點》揃つて違反

例として來る十四日午朗十時か 脱を励ることとなった、まづ第 1一 附では所属物脈によって 一郎民デー」を設け四条の機関 一干戸を越したので今年か 補助すること」なつた

川の農民日

はじめ熊本県特、米属内特南郡女の朱実復町地内の大田で永井府野

「祖仁」工事費一萬七千五百四で **京城山本組の手により昨年十一月**

成北警察部から

精鋭四十名

茂山郡三長署に配置

を輸出して出版を行ふ

乞食浮浪者救濟

金良川橋は鶴跋コンクリートの堂場上した京登鶴一等道路の祖仁郡

割三分一回、女二分の世長里

五人で増加密は一側が分である。

各種面技術指導放及び關係職以的日便數數與辦俗雕由法住寺に道內 後一階から議員器評を明さ十一 度快が強に中部報告、明鮮面工門 [[三] | 商品開催所では土三月年 所間的議論の搭加その他能談理

川公型技で総額を開催、道場が終いる。一年では一般によって、一年で同じ、「永川」の計算数では大日成。「当五十名を選集して十二年で同じ、「大川」の「大川」の「大川」の「大川」の「大川」の「大川」の「大川」の 事業計数に辿っく機作器構成を明確した

の何宏が一致敵を招き手工部沿行から田中心理路路、京城市御泉技

合計水池別丘で管民多数参加の上 デーに年間九時から大加味水利組 「永同」忠州郡では十四日の農民 忠州の農民デー 五百四寄附 に面民の生活が豊かでないため谷 面」校計版は十一年度をもつて したがこのちも西部団は一般

門金が独まらず単四哲局で商心し 版な學校を設立することが出来 熱波氏が五百風を寄附したので 民は同氏の楽學に設謝してゐる のたところ京城府西水雨町居住

特等四圓二十錢で

永登浦署の射撃

除名川腊したが成職は次の通り ら七八職隊甘興温で在季射県大郎「水寺浦」署では十日午前九時か | 一點再發鐵一部長、三亞三人| 二階部衛長以下等以五十

総性に下風に来たり、歴代術維術 「客な龍機揺はを割う人だけが治らうで、時に顔経確がピリー」と記 欄に残べられてるますが、之は適齢態の切解は、維維質減の中 一般に彫様症に発治しないかの

験を語る

脳梅毒の初期

取り返しのつかね事になります。

駆梅法の進步

日頃となり並では六日大田販資所 部四葉技術は其他を召集し典取 思州都建味面長 证 根

▲安田忠北州総部長・防護領別 大谷以来、創作を行み、常に頒布

()

【太回】 級川構筑 阪野所 当内で十一 計画権を目標に飮置に上族の 改良 力 声に 慢煙 どなる なんと 七分の 唯加を示ししかも 総

(財政は忠まれた帝國初出廻り)

また吹出物に に堪へず候の

険も思ふやうに治らず、ほどく なやまされ、肌々手出いたし回り

ありますら

梅毒と體毒 梅毒性吹出物に

A POST 編集

前は、今後の量別のためにも、引がは、今後の量別のためにも、引がく治つたも同様の段階に嵌へども

阿大王急仰答案

く検放

く関上げ級の戦

政委元 鈴木日本製藥社

世水出義和金中から百二十七回を 心臓疾者波斡旋種により五ケ年以とに決定したが同日新劇定の自動 機成成も駆行の密 度及強制者へ初の炎彩紀版

(清州) 郡北道内各地の本年度在。 日本同 六月二十五日沃川▲同三十六日 清州▲同二十九日沃川▲同三十六日

情の 行化 多い時で

へば、心すよくならものでありまの人でも、充分結ばがはる関してしま

ないので、例へ第四別の思性確認

少残るとしても、それ以上進行せす。語りこの構成されば他と流せ

まれは既後の中一や時緒が出る。そして現力が無く **吹出物にも注意**

のであります。 然しそれには、山門家の位置 驅梅薬の選定

り、発騰が日然に飛化されて

する尤もだれは する結果、順後作品と、新原代謝ます。之は国家を開外に帰価技能 機能が胚端になるほのでありま

脳梅毒のみで

【大田】本春室の稲宝は金蝉を通」に大馬力をかけ損害の徹底に等め 農民の懐ホクノ Eに 配能は吸収されことに三胎士能つ たが幸ひ天候も限制に出まれ至の

分三風の減少となってゐるが

性の頭痛や便秘も 今は無く愉快な生活

なく、間で極近性の疾患、例

頭り忠留では各道の減少を見る お来るえで最高両四五十五岐、一たため大田岐崎所では五日既に初

場で蘭玉ヶ年以上

萬九千貫である、この間子なら られるに至ったが何の典版は五日 春忠直全道の共阪貿高段利は十五 特等週四回甘鶴で取引されたが本

を開始する智で出路りは十三、四 なトップに十日道には各都共阪貿

徐延两

及野鄉級山町 渡 湖 初 雄

賃収、模技、神経館、リウマチス 日を追ぶて快座に線かれ、豊穣、 は皮膚菌やニキビ吹出物の類も、 は、原館、便盛の音館は雅ど定まめる事が出来、尚ほ遺伏性権能に 用して、ベルッ丸類似の効果を開動駆使化、その他遺傳権接続に服

馬越藥學院士餌製

胃腸病の患者が多い點では日本は世界に これは白米を食べるからだ

と言はれて居りますが

白来のやうな含水炭素の食物を食べるとそれを充分消化して血や肉に同化させ **な残渣がお腹に永く溜つて腐敗し、それから便毒が血液を混濘させて、頭重と** 芽を除いて食べるため、この成分が不足し、そのため胃と腸の筋肉が弛緩して ちはお米をわざ!~精白して、肝腎のヴィタミンB複合體を含んで居る様や胚 るため、食べた量に相常するヴィタミンB複合體が要るのです。ところが私た か不眠、さては血色を着くしたり、ニキビ、吹出もの……などを引き起します。 食慾を滅じたり、消化を鈍らせたり、その上。 そしてこのヴィタミンB成分の不足が昂じると脚気になるのです。 腸の運動を急けさせて、不消化

大食を必要とする運動家や筋肉作業に携 はる人々に胃腸病や脚氣患者が案外多い



病氣のときや、 ス錠を與へると非常に元氣づいて來ます 。この企業を消化も便通も鈍りがちになり、元氣が失せて神經衰弱のやうな症狀 が、三倍だけ多量のヴィタミンド複合體が要るわけです。……そして、この補 このエネルギーを確ふには、米の飯が一ばん効果的なわけですが、さらかと言 ます。エネルギーの消費が殊の外甚しくなるから、どうしても食物を多く食べ 給を立ると、疲れが苦しくなつていつまでも抜けない、お腹の工合が變調にな ネルギー化されません。即ち、一杯のご飯を食べるときよりも、三杯のときの方 やうにそれに比例してヴィタミンB複合體を輸はなければ折角食べたものがエ つて、米の阪だけを澤山食べても全部血や肉に送られないのです。前に述べた て消費分を確はねばならないわけです。 が起る……つまり慢性の胃腸病になつたり、脚氣に移行したりするわけです。 お産の前後などにヱビオ

が要るわけで、この補給を怠ると、母體が萎襲して餘極を起したり、お乳の出 やはりヴィタミンB複合體の力です。病気のとき、わけても熱や痛みのある病 それと同様に、妊娠中とか、授乳中とかにも二人分以上のヴィタミンB複合體 人は、病氣と聞ふために、平素より敷倍も大量のヴィタミンド複合體が要るの が思かつたり……それが赤ちやんに影響して發音が遅れる結果となるのです。 鑑りが永びいたり なときには三錠から五錠の割合に生理的に要求することになるのです。ですか です。例へば平時なら一杯のご腹に一錠のエビオスで良かつたものが、かやう ら、病人には特に、多量のヴィタミンB複合體を興へねば、頻勢が悪化したり ……いろくな故障が起りがちのものです。

あれもB複合體の作用でせらか?

結局「日本人の榮養障碍にはヴィタミ B複合體が必要で 能を丈夫にせよ」 と言ふのですか? これで先づ胃腸の機能



この弱つた胃腸に、成る可く負擔をかけ まれる滋養成分を充分に身につけさせるやう、ヴィタミンB複合體を補ふこと の消化運動を休ませる結果、却つて胃腸 の蛋白質などを興へた時代もありますが、 へれば滋養成分が不足すると言ふよりは胃腸の働きが鈍るために起るのです。 合體の不足が多く、即ち来飯だけ食べてその築養化に必要な『複合體を確はな 確かにさう言へます。と言ふのは、日本 が肝要で、特に、これはわれく、米食人種にとつて大切なことです。 した現代の豪蹇學から見れば先づ胃腸の機能を丈夫にして、日常の食物中に含 いため胃と腸とが弛緩狀態になり、折角を ないで吸收させやらと、既に消化すみ

近ごろ酵母劑が各方面 しいろんな種類がある やはり實際に効くからですね。

その點になると、麥酒酵母の獨壇場です。 今日の定説です。現に、品質を最も厳選さ ミンB複合體です。この大切な成分はどの く似て居りますが、酵母が治療上に重きをなす成分は以上述べたやうにヴィタ では、酵母劑と言へばいつも麥酒酵母が質用されて居ります。 言へば、それは断然萎酒酵母で、他の酵母の三倍以上も强力であると言ふのが

ッポロ、ユニオンなどのឈ造工場で出來る所謂『活性酵母』はすべてエビオス 國産麥酒酵母の代表的なものはヱビオス錠です。ど承知のヱビス、アサヒ、サ 少い雑種酵母などを含んで居らないだけ、 (錠)の原料となるのです。素性の分らぬ輸入酵母とか、ヴィタミンB複合體の 界から多大の信頼を博して居るのは皆さまど承知の通りです。

三〇〇章… 四

その他粉末ありと その他粉末あり

清津の空を結ぶ

88四で十一日、七月二日、同十六

給仕だからとて悲観するな

上げが最も聴識させてみる。その人。北大都に属したいと称してある。一般二千ヵ間になるではないか、使用一国の飲食を印出てその腮腺。皆を置く駐韓に呼びかけて國家の「も人選か一千萬あると子れば年に

J. P.O.

収録書售等不人来議会 内離人を不同経験さる 人来議会

| 茶口印料内

| 10 | 大学映画脚場映楽部| | 大学映画脚場映楽部|

は記してない。由本さんはこの題「本発展で使力」置つつ戦争が出来「戯さをなすものとがは由本一争さんといふだけで住所「激出した手紙の中で「今かりには「生物に発支なき」題。

八月六日、同廿一日、九月三

盛會を極めた

内現を載け、恵まれない版具に光 行政法の問題を提供し郷土原育局と一個人統分間のため所は容缺の 計画に管理に乗ぎをおき収録行版としてあるので人心明新 よので、帰域は縁びの二重発だ、 明を駆することになり、その第一一長以下各職長が試験官にあたるは

製製局では関係管理財争により立一の機器を持つ者とで給仕出員の組

題長よ

常時色を強力したこともあるが「め各分敵から五名類遊んで經濟遊」題め極めて監論であった。 に加を進かせ時局に対す いと思っ、政済は素には在は「逆に優別な損害動事を養成するだ」に加を進かせ時局に対す の数値ではあるけれどん鰻にな 助手・参広」に個く場話。数立の5もに「型か代」。 の数値ではあるけれどん鰻にな 助手・参広」に個く場話。数立の5もに「型か代」。 の数値ではあるすつかず、 な訓練を置けてある直域誤聴能は やがて壁上に唱ぶ利山田は の数値ではあるすっかが、 な訓練を置けてある直域誤聴能は やがて壁上に唱ぶ利山田は の数値ではあるけれどん鰻にな 助手・多広」に個く場話。数立の5もに「型か代」。

超立のうちに「おか代」を合唱、関で開催したが、定刻先の勘察認

死ぬまで毎年

から街にのさばり出し入々に潰れ 働き無難避異をするなど今巻ごろ

11個屋主人から申出

注復し、十月一日からは「質化すっと添えぶんである」 、清津観が一座年から翌「佐・京文(は一家人和高地を中心に いっ定線、清津観が一座年から翌「佐・京文(は一家人和高地を中心に が、「で原源の関係から資本」(「大学文(は一家人和高地を中心に

路を開く 今秋十月から實施

【惠山鎮電話に翻訳回車〇〇(花数なるやも切れず)を出した 共匪と遭遇 変も出版者は弾道列型で現意に向。され漁路と辿り着行に減受沈渡しと、別心を運搬する戦闘中である、遺 国を開献して下航中部はに押しばれた月州日本大、後山市に一等地上、漁銭所有の高河に製行地穴十一號(上月州日本大、後山市に一等地上、漁銭所有の高河に製行地穴十一號(八十月州日本大、後山市に一等地上、漁銭所有の高河に製行地穴十一號(八十月年日十一度)十八万半地東州都で、

土師さん着任新放送協會長

のでは、からいのでは、 1 というでは、 1 というでは

で度は病院の

を思い得べて早进近所の大工さ

巡げようとする男があったが見

胃臓内の育彦物と原化すぐトモサンを―― そんな時はあはてすに

します。

良好ならず主治室の柳緑製土も砂 前にして病床に向れた相角整盤門

【東京記記】十二日の華人喚懺を

悲壯・出廷の決意

アッ大變だ!

防疫と取組む本町署

が、今年は何年に比べ物に赤何の一次年来の完全ななだが、井戸水の一種の名条原に赤信頼を送つてある一度神を存職して内戦戦の戦略、野・浦田学を送へ戦発詞は観瞭をよるひ一月の駐島がを前に進度生態ではば、なった

大汗で防疫陣を督勵

歴生が激しい、五月末までの京禄 カルキ消毒、蝎、鼠の翳除、戦染

府内の傳染病 殖える一方の

-自一〇人佐野・幽古氏・星 任唯一去る五月つひに鄙難した、唯里の一ケ月を入続し今度は半年も大部部省制物研の交通。域代官域本町一年九月服務がこたへて病床に到れ一四月には夫人・・クチさんでいか。

緊昌の 真女うどん

学荒波に働く半生

四四の補病中番は九十名に遂し、|病患者の自宅帰職の場合は宮崎の

味を記述中であるが十一日午

映える瓜質の顔

夜泣きうざん。の

社 員 即等終其其的時人 所為漢化通一五 日新用與資建內 所為漢化通一五 日新用與資建內 經濟學與其集份時人和

ンベルグシャッ生地 各種綱ブロードクロース生地 イシャツ生地

精神

府西小門町

病

院

京城本町二丁日本町エアル事が宝配の方を里む本人来談

女

中心相信力度し

ラが病院

理学的原活形所数

嘉寶商社現資部

電

里京電話」 海の生命職情洋と東

真面に遵する[8]をあげて「新字線」 線戦権を進めてある。なに総置者まだにを再といふのに早くも二百一られ、早くも今秋の管原列車の増

佐柳の吸収に大竜の語で解説に金」とよって歌名の釈礼作器を長に甘 出込人は諸田同では解説の病験と「人を附那した四千萬人を解述する」とれた

昨年度より八百萬人多く

に何れて引った「個の開総には触

製約プ日ヨリ向ブ競ケ月内金融ノ一期申受担シ保証派ヲ加卯ス製的ハ落札ノ翌日単約ト同寺ニ県約

愛する者ゆゑに献げる

い、そのか細い脳と示賞 元警察官の若き妻

断順しながら、生れて初めて国部を挽きながら夜迎きら

置かある、難しいなかにも力量く一番りがまだぶんくっても新しい歴

正直クレヨン日本・アレヨン 社會式機會賠償額第鉛硬也 智九六五一(2)國本監律 一卅目丁二申: 府城京 **社会式株遊劇並給本日。** 麻

では現る語彙を 朝日 照行 情報 一市一 店特約店 郷一市一 店特約店

特别拿內

れ、こりン 206年・706年・11回50 東京にあり セールスマン一名は川三十 上 2 変別が大力でしまった。 東 文 タイヒスト 一名は川三十 社員募集 電線等電域以內外 資和聯接可不過期等的 資和聯接可不過期等的 資和聯接可不過期等的 資和聯接可不過期等 資和聯接可不過期等 資和聯接可不過期等 資本聯接可不過期等 資本聯接可不過期等 資本聯接可不過期等 資本聯接

痛だ!

原現院宣野町二丁九一

つって危険なが発達の関係されて思いて、総した際に直って保険ながあっては危険この上もといふ思くべき参数にのほり形であるが、収集が思考を政治によって、発展の関係があるが、収集が思考を政治する。 ないので第年期の呼吸の保険があるが、収集が思考を政治する。 ないので第年期の呼吸の保険があるが、収集が思考を政治する。 ないので第年期の呼吸のを励める本則に此べ三十三名も紹く、デフテリ者を政治する。 はは、 一本の理解を関める本則に此べ三十三名も紹く、デフテリ者を政治する。 は、 一本の理解を関わる。 は、 一本の理解を関わる。 は、 一本の理解は関係を関する。 は、 一本の理解を関わる。 は、 一本の理解を関する。 は、 一本の理解を関わる。 は、 一本の理解を関わる。 は、 一本の理解を関わる。 は、 一本の理解を関する。 は、 一本の理解を関する。 は、 一本の理解を関する。 は、 一本の理解を関する。 は、 一本の理解を関する。 は、 一本の理解を、 一本ので、

●質・手足の

● 指間水虫・股間いんさん ムスカユキ皮膚病



十二二日(日) 年前七時一分(大) 時島を獅く 年期出近節影光寺上り中間 日九時三〇分(北) 短影響 日本放送空標 日本放送空標

薬は常に良品を

所謂ビタミン日は二種以上に存在し、飲中、重要な

最も簡單な選び方は、その製造者の信用と第三者の

批判とを検討することであります。何となれば信用を 重んする製造者は力の及ぶ限り最良品を供給すべく努 カレ。又第三者の批判はその製品の信用を測定するに

オリザニンは、ビタミン日の世界的始起であり、又發見者 鈴木梅太郎博士は帝國學士院より其の功績を鐘載されてゐ

(2) オリサニンは、蘇製品生物學的に其犹嗣家成分の效力を検 定し、常に一定態度のものを市場に供給してのます。 (3) オリサニンで、脚葉の治療剤として腐く管果に提供したの は質に明治四十四年八月のことであります。 爾来鈍意その は風に切出り四十八刀いことにシリエ・。 阿米地區でい 製品の改良充實に努め、注射液の如きは数年前より統結晶 さい。これに、カン、 いっぱいから マステリット (日 権権) を溶解した 至純の 製品と なつてるます。 (4) 第三者の實驗批判は、列樂し難いほど多数の構成者、實地

第二者の自然此刊は、アルドル・ルーン戦〜mango Rus 家によってなされておます。その如何に信頼されておるか

(a) 肺結核、肋膜炎、チフスその他の鶫性紫

息時に……(ハ)原因不明の金総際羽に…… (二) 妊娠、産褥、授乳時心……(木) 乳兒脚氣、

成長障碍に……..(ヘ) 疲勞防止恢復等に貨用さ

份末、錠線、液煅、エキス、注射液各種

東京 • 室町

三共株式會社

(詳細説明書にあり。 御申越头第進星す)

サニンは (1) 脚氣の治療及像防に………

は多言を要しないところであります。

れてあます。

有力なものであるからです。

と称せらるいものである。故にビタミン日朔 の選擇に當つては、何よりも先づ日1の含量の一定且 つ豊富なもの、別言すれば其の数力の一定したものを

 (\mathcal{N})

(67)

二節花浪

、山形地方

田植 一・各局から

米のなる木を知らぬなら見せられ

7

Ŧ

心のもつれも解けたと見え、笑つ

メットの生涯と放乱(四)別の修造(二十六日) 圏谷

祖か師に

こわされ

ħ

面會

口,用世间夜中七

能每日午後五時

| 朝鮮汽船出帆魔告

籍中三日 海北三日 海北三日 北等東京存場出一個門一神戶一名 北等東京存場出一個門一神戶一名 大 團 克 古 馬一浦水一城景希腊 大 團 克